

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般社団法人 七草会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則(第3章 服務規程)に、各ハラスメントの禁止事項を定めている。 ・就業規則内容に基づき、職場秩序の維持に務めるよう意識づけを行っている。 ・虐待チェックリストの記入で、自己点検意識の向上を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則(第8章 安全衛生及び災害補償)に遵守項目を定め、確認周知を行っている。 ・職員については、1回/年の健康診断を行っている。 ・人間ドックの受診の際には、助成を行っている。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員(正職員・パート職員)ともに、各種手当、賞与等、適切な対応をしている。 ・(同一労働・同一賃金ガイドライン)を理解し、整備・運営を行っている。					5.5				8.5	10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業規則(第4章 労働時間)に、勤務時間/休憩時間を定めており、就業規則に沿った勤務環境を構築している。 ・日々の勤務時間は、管理者にて確認し過度の残業などが発生していないかの管理を行っている。			3		5.5				8.5 8.8	10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年間の研修計画に基づき、1回/月の頻度で社内研修を行っている。 ・社外研修については、意欲的に受講するように促し推進している。 ・Zoomによる社外研修を見つけて、受講出来るよう配慮している。				4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・職員/利用者全員の、朝一の体温チェック管理を行っている。 ・毎日の朝礼/終礼にて、夏場の水分補給や手洗い/うがいの徹底について声掛けしている。 ・コロナワクチン接種は、強制ではないが個人管理を行っている。(誰が、いつ接種したか) ・職員については、1回/年の健康診断を行っている。 ・人間ドックの受診の際には、助成を行っている。			3						8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・就労継続支援事業で、障がい者の方20数名が利用中。 ・業務運営や昇進・昇格等に、性別、年齢などの違いによる差別的待遇はない。 ・【職員総人数 8名 男性5名 女性3名 うち高齢者2名】				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・送迎中は、車に乗車する前に検温を行っている。 ・事業所における感染症対策として、検温・アルコール消毒・手洗い・定期的な窓開けをしている。 ・Zoom等(web)での研修や会議を、積極的に行っている。 ・職員の時差出勤を行っている。			3						8	9.1	11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1	11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9		12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般社団法人 七草会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミ出しルールに沿って、燃えるゴミ、燃えないゴミ、リサイクル等の分別を徹底している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業所内の照明設備は、すべてLED照明に交換している。 ・日が当たる窓には、ブラインドなどの取付をしている。 ・利用していない作業室のこまめなスイッチのオフをしている。 ・社用車(送迎車)は、すべて新車としている(co2排出軽減の為)。 ・簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握している。							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車(送迎車)を、新車としCO2排出軽減に取り組んでいる。 ・簡易計算シートを用いて、温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・雲丹(ウニ)を乗せる木箱を制作し出荷しているが、釘などの金属は使用せずに加工している。 ・原材料についても、地産地消の推進で、地元の森林組合からの協力のもと、間伐材を板加工したものを使用している。 ・材料加工に出た、のこくずを地元の酪農家で牛の寝床として、利用してもらっている。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピーをミスした用紙については、裏紙利用入れを、コピー機の横に設置し再利用を推進している。 ・クラウド上で管理できる業務(データ)に関しては、ペーパーレス化してコピー用紙の削減に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・障がい者就労施設なので、手に力が入りづらい方でも、蛇口の開閉が容易に出来る様に仕様を変更しているが、完全に閉まっていない状態にならない様に『節水』に特に注意している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・海洋プラスチックゴミ問題で、ウニ箱をプラスチックの入れ物から、県産材を使った木箱の入れ物へと替える取組みを進めており、その木箱を製造している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3		14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●			・五木村森林組合の熊本県産材(間伐材)を利用し、ウニ箱を制作している。					6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・ウニ箱のプラスチック容器に代えて、熊本県産材を使用した木箱を山口県漁港に使ってもらい、海洋汚染の防止に貢献している。												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

